

平成23年度 年度計画の重点事項

●教育

●情報通信技術を取り入れた授業等の充実

情報収集、情報倫理などを担当する教授を採用、情報関連授業体制整備

●医学科・看護学科のカリキュラム見直し

診療科単位の臨床実習時間等を見直し、看護学科カリキュラム改善

●地域医療実習の推進

地域医療教育体系を構築し参加者を増やす

●海外での実習等の充実

学術交流協定校を増やし、海外での教育の機会を増やす

●入学選抜方法の改善

後期編入学の募集に地域枠を設ける

●学生の健康管理の充実

メンタルヘルスケアなどの充実を図る

平成23年度 年度計画の重点事項

● 研究

● メディカルフォトンクス分野全般の研究推進

光の多面的な応用を診断、研究などの各分野に広げる

● 地域の関係機関等との連携強化

(産学官共同研究センター設置)

● 海外の研究者との共同研究の推進

米国バーナム研究所等との共同研究を推進

● 若手研究者の支援

すぐれた研究に研究費の支援など、研究活動を活性化

平成23年度 年度計画の重点事項

● 業務運営

● 教育、研究施設の整備

定員増に伴う情報処理室拡張等

● 産学官連携拠点の体制整備

産学官共同研究センターの運営体制の充実

● 財務会計システムの円滑な運用

更新したシステムを運用し、業務の利便性を図る

● 積極的な情報提供

継続的に活動状況等を情報発信する

● 法令の遵守

コンプライアンス委員会の開催

平成23年度 年度計画の重点事項

● 診療

● 緩和ケアの教育と診療の充実

緩和ケアの人材確保し組織の確立を目指す

● 救急外来診療の充実

病院内職員の応援体制の強化を図る

● 患者支援の機能強化

退院支援・医療相談などを一室にし、機能を強化する

● 情報管理システムの整備

病棟での電子カルテ運用を目指す

● 医療安全管理の強化

専任のジェネラルリスクマネージャーを配置し、院内巡視を強化する